

動物愛護に関するアンケート調査

ご記入にあたってのお願い

- ◆ ご記入は、黒のボールペン、鉛筆などではっきりとお願いします。
- ◆ ご回答については統計的に処理します。
個々のご回答やプライバシーに関する項目について、公表したり、他の目的に使用することは一切ありません。
- ◆ ご回答いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**9月14日（月）までに**アンケート配布者の指示に従ってご提出ください。
(返信用封筒を配付されている場合、返信用封筒にてご郵送ください)

お問い合わせ先：

石川県健康福祉部薬事衛生課 担当 高橋、松下
〒920-8580 金沢市鞍月1-1
TEL 076-225-1443 (直通)

お名前	(無記名でも可)	お住いの市町	市・町
<p>本県では、動物も家族の一員として、人と動物がより良い関係で暮らせる地域社会づくりに向けて、平成20年3月に「いしかわ動物愛護管理推進計画」を策定し、実効性のある施策を行うことにより、動物の愛護及び管理を推進してきました。</p> <p>今回、この計画について、平成26年3月に引き続き2回目の見直しを行うにあたり、皆様のご意見を反映させるため、本アンケート調査を行うものです。</p> <p>調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。</p>			
設問1. ご自身のことについてお伺いします。			
設問1-1. 性別をお答えください。	A 男性 B 女性		
設問1-2. 年齢をお答えください。	(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。 A 19歳以下 B 20～29歳 C 30～39歳 D 40～49歳 E 50～59歳 F 60～69歳 G 70歳以上		

<p>設問 1-3. 世帯構成についてお答えください。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A 一人世帯 B 一世代世帯 (夫婦・パートナーのみ) C 二世帯世帯 (親と子) D 三世帯世帯 (親と子と孫) E その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 1-4. 自宅についてお答えください。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A 一戸建て B 集合住宅 (アパート、マンション等)</p>
<p>設問 1-5. 現在、自宅でペットを飼っていますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 飼っていない → 設問 4 へ B 犬を飼っている C 猫を飼っている D その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 1-6. ペットを飼っている理由をお答えください。</p>	<p>現在、自宅でペットを飼っている方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 潤いや安らぎを与えてくれるから B 自分や家族が動物が好きだから C 散歩することが運動になるから D 子供が心豊かに育つから E 防犯や留守番に役立つから F その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 2. 犬の飼育状況について ※ 現在、自宅で犬を飼っている方のみお答えください。</p>	
<p>設問 2-1. 飼っている犬が迷子になった場合に備え、名札などによって所有者 (飼い主) を明示していますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A すべての犬に明示している B 一部の犬には明示している C 明示していない → 設問 2-3 へ D 分からない → 設問 2-4 へ</p>
<p>設問 2-2. どのような方法で所有者 (飼い主) を明示していますか。</p>	<p>設問 2-1 で「すべての犬に明示している」又は「一部の犬には明示している」と答えた方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 名札 B マイクロチップ (※1) C 鑑札・注射済票 (※2) D その他〔自由記載： 〕</p> <p>※1：皮膚の下に埋め込む小さな電子標識器具 (IC チップ)。これを装着した動物は、災害などで迷子になってもすぐに身元の確認ができるため、飼い主の元へ戻りやすくなる。 ※2：犬の登録や狂犬病予防注射の際に各自治体から交付される札</p>

<p>設問 2-3. 所有者（飼い主）を明示していない理由をお答えください。</p>	<p>設問 2-1 で「一部の犬には明示している」又は「明示していない」と答えた方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 面倒だから B お金がかかるから C 犬が嫌がるから D その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 2-4. 飼っている犬に、不妊去勢手術をしていますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A すべての犬に手術している → 設問 3へ B 一部の犬には手術している C 手術していない D 分からない → 設問 3へ</p>
<p>設問 2-5. 不妊去勢手術をしていない理由をお答えください。</p>	<p>設問 2-4 で「一部の犬には手術している」又は「手術していない」と答えた方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 面倒だから B お金がかかるから C 犬が幼齢だから D 犬を出産させたいから E 犬が可哀想だから F その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 3. 猫の飼育状況について ※ 現在、自宅で猫を飼っている方のみお答えください。</p>	
<p>設問 3-1. 飼っている猫が迷子になった場合に備え、名札などによって所有者（飼い主）を明示していますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A すべての猫に明示している B 一部の猫には明示している C 明示していない → 設問 3-3へ D 分からない → 設問 3-4へ</p>
<p>設問 3-2. どのような方法で所有者（飼い主）を明示していますか。</p>	<p>設問 3-1 で「すべての猫に明示している」又は「一部の猫には明示している」と答えた方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 名札 B マイクロチップ (※1) C その他〔自由記載： 〕</p> <p>※1：皮膚の下に埋め込む小さな電子標識器具 (IC チップ)。これを装着した動物は、災害などで迷子になってもすぐに身元の確認ができるため、飼い主の元へ戻りやすくなる。</p>

<p>設問 3-3. 所有者（飼い主）を明示していない理由をお答えください。</p>	<p>設問 3-1 で「一部の猫には明示している」又は「明示していない」と答えた方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 面倒だから B お金がかかるから C 猫が嫌がるから D その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 3-4. 飼っている猫に、不妊去勢手術をしていますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A すべての猫に手術している → 設問 3-6へ B 一部の猫には手術している C 手術していない D 分からない → 設問 3-6へ</p>
<p>設問 3-5. 不妊去勢手術をしていない理由をお答えください。</p>	<p>設問 3-4 で「一部の猫には手術している」又は「手術していない」と答えた方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 面倒だから B お金がかかるから C 猫が幼齢だから D 猫を出産させたいから E 猫が可哀想だから F その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 3-6. 飼っている猫の飼育場所をお答えください。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A 家の中だけで飼っている B 家の中だけでなく、外にも出して飼っている C その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 4. ペットの終生飼育（ペットが一生を終えるまで飼うこと）について ※ <u>これまでにペットを飼ったことがある方のみお答えください。</u></p>	
<p>設問 4-1. これまでに飼ったペットは、その一生を終えるまで飼育しましたか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A すべての最後まで飼育した → 設問 5へ B 途中で飼育をやめたことがある C これまでペットを飼ったことはない → 設問 5へ</p>

<p>設問 4-2. ペットの飼育を途中でやめた理由をお答えください。</p>	<p>設問 4-1 で「途中で飼育をやめたことがある」と答えた方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 引っ越し（転居先で飼えなかった場合を含む） B 飼い主（ペットの面倒を見る人）の死亡・病気・けが等 C ペットの病気・けが等 D 攻撃的で手に負えなくなったから E 鳴き声等がうるさかったから F 大きくなりすぎたから G 繁殖して数が増えてしまったから H その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 4-3. 途中で飼育をやめたペットはどうしましたか。</p>	<p>設問 4-1 で「途中で飼育をやめたことがある」と答えた方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 飼うことができる人・団体に譲渡した B そのペットの入手先（ペットショップ等）に戻した C 保健所に引き取ってもらった D その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 5. ペットの災害対策について</p>	
<p>設問 5-1. 災害時は、ペットとの同行避難（※3）が原則とされていることを知っていますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A 知っている B 知らない</p> <p>※3：同行避難とは、避難所等でペットと同居すること（同伴避難）ではなく、<u>ペットと共に安全な場所まで避難することをいいます。</u></p>
<p>設問 5-2. 災害時に備え、どのような準備をしていますか。</p>	<p>現在、自宅でペットを飼っている方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 避難用品の準備〔具体的に： 〕 B 避難所や避難ルートの確認 C ペット用のエサの確保 D ペットへのしつけ E ペットにマイクロチップ（※1）を装着 F 準備していない G その他〔自由記載： 〕</p> <p>※1：皮膚の下に埋め込む小さな電子標識器具（ICチップ）。これを装着した動物は、災害などで迷子になってもすぐに身元の確認ができるため、飼い主の元へ戻りやすくなる。</p>

<p>設問 5-3. 災害時、ペットに関して望むことをお答えください。</p>	<p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A ペットを世話できる空間（避難所内）の確保 B ペットの一時預かり所（避難所外）の開設 C ペット用のエサの確保 D 被災したペットの世話 E 望むことはない F その他〔自由記載： 〕</p>
---	--

設問 6. 犬・猫による迷惑について

<p>設問 6-1. 直近 3 年以内で、犬・猫による迷惑を受けたことがありますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 鳴き声等がうるさい B 放し飼いにされている C 野良犬・猫が徘徊している D 自宅の近隣で糞が放置されている E 自宅の敷地内に糞尿をされる F 迷惑を受けたことはない → 設問 6-3 へ G その他〔自由記載： 〕</p>
--	--

<p>設問 6-2. その迷惑の原因となった犬・猫についてお答えください。</p>	<p>直近 3 年以内で、犬・猫による迷惑を受けたことがある方のみお答えください。</p> <p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 飼い主のいる犬 B 飼い主のいない犬（野良犬） C 飼い主のいる猫 D 飼い主のいない猫（野良猫） E 分からない</p>
---	--

<p>設問 6-3. 現在、あなたの身近で、野良犬・猫への無責任なエサやりによって、生活環境が悪化（臭いや糞など）している事例はありますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A ある B ない C 分からない</p>
--	--

<p>設問 6-4. 地域猫活動（※ 4）を知っていますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A よく知っている B 聞いたことはあるが、詳しくは知らない C 聞いたことがない</p> <p>※ 4：地域住民の十分な理解のもと、野良猫を管理（不妊去勢手術、適切なエサやり、糞尿対策など）しながら頭数を減らすことで、糞尿や鳴き声などの問題解決を目指す活動のこと。</p>
--	--

<p>設問 6-5. 地域猫活動についてお答えください。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A 賛成する B 反対する C どちらとも言えない D 関心がない E その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 7. 県の取組について</p>	
<p>設問 7-1. 県が、保護した動物の譲渡事業を行っていることを知っていますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものをひとつ選択してください。</p> <p>A 知っている B 知らない</p>
<p>設問 7-2. ペットの殺処分については、どのような場合に許容できると考えますか。</p>	<p>(※) 当てはまるものを<u>すべて</u>選択してください。</p> <p>A 病気やケガから回復の見込みがない場合 B 回復の見込みにかかわらず、病気などの苦しみから解放させる場合 C 攻撃性や病気などが原因で、新しい飼い主に譲渡できない場合 D いかなる場合も許容できない E その他〔自由記載： 〕</p>
<p>設問 7-3. 動物の愛護及び管理に関してご意見があれば記載してください。</p>	<p>(※) 自由に記載してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご面倒ですが、9月14日(月)までに、アンケート配布者の指示に従ってご提出ください。

返信用封筒が同封されている場合は、お手数ですが返信用封筒にて、ご返送ください。